

第2次宇都宮都市交通戦略 施策ごとの目標指標の推移

基本方針1：多様な交通手段を「つくる」

□施策の体系	(1) 多様な公共交通を充実させる (2) 公共交通や自動車や自転車が円滑に通行できる幹線道路等を整備する		(3) 自転車や歩行者が快適に移動できる環境を整備する			
□目標指標	指標名	基準数値 (a) (基準年)	数値 (b) (評価年)	目標数値 (c) (目標年)	進捗状況 (%) 基準年(a/c) ⇒ 評価年 (b/c)	進捗評価
	① 公共交通夜間人口カバー率	89.8% (H29年度末)	90.7% (R3年度末)	100.0% (R10年度末)	89.8% ⇒ 90.7%	着実に進捗している
	② 都市計画道路の整備率	71.2% (H29年度)	71.4% (※72.3%) (R2年度)	72.7% (R4年度)	97.9% ⇒ 98.2% 97.9% ⇒ 99.4%	着実に進捗している (※H29年の計画延長に基づく整備率)
	③ 自転車走行空間の整備延長	40.0km (H29年度)	59.3km (R3年度)	72.1km (R4年度)	55.5% ⇒ 82.2%	着実に進捗している

基本方針2：交通手段と交通手段を「つなぐ」

□施策の体系	(1) 多様な交通手段の乗り換え施設を整備する (2) 他の交通手段への乗り換えを円滑にする					
□目標指標	指標名	基準数値 (a) (基準年)	数値 (b) (評価年)	目標数値 (c) (目標年)	進捗状況 (%) 基準年(a/c) ⇒ 評価年 (b/c)	進捗評価
	① 都心部と各拠点間の公共交通による移動時間	平均47分 (H29年度末)	平均57分 (R3年度末)	平均31分 (R10年度末)	66.0% ⇒ 54.4%	進捗していない (新型コロナウイルス感染症による減便の影響により)
	② 都心部と各拠点間の公共交通の運賃負担	最大800円 (H29年度)	最大400円 (R3年度)	最大500円以下 (R10年度末)	62.5% ⇒ 100.0%	達成
	③ 交通ICカードによる運賃支払いの割合	未導入 (H29年度)	82.4% (R3年度)	90.0% (R10年度)	0.0% ⇒ 91.6%	進捗している

基本方針3：状況に応じて適切に交通手段を「つかう」

□施策の体系	(1) 公共交通をより便利で快適にする (2) 公共交通に関する案内情報を充実させる		(3) 安全・安心な交通環境を整備する (4) 自動車から公共交通へ移動手段を転換する			
□目標指標	指標名	基準数値 (a) (基準年)	数値 (b) (評価年)	目標数値 (c) (目標年)	進捗状況 (%) 基準年(a/c) ⇒ 評価年 (b/c)	進捗評価
	① 公共交通の年間利用者数	3,353万人 (H28年)	2,211万人 (R2年)	3,600万人 (R10年)	93.1% ⇒ 61.4%	減少している (新型コロナウイルス感染症による外出自粛やテレワーク化による移動自体の減少に伴う影響により)
	② 交通での移動に関する市民満足指標	公共交通ネットワークの充実 25.1% 道路ネットワークの充実 39.1% 自転車のまち宇都宮の推進 26.1% (H29年度)	25.9% 28.3% 20.9% (R3年度)	38.4% 52.4% 39.9% (R10年度)	65.4% ⇒ 67.4% 74.6% ⇒ 54.0% 65.4% ⇒ 52.4%	減少傾向にある
	③ 人にやさしいバスの導入率	53.2% (H29年度)	62.2% (R3年度)	77.6% (R10年度)	68.6% ⇒ 80.2%	着実に進捗している

基本方針4：交通を「ひろげる」

□施策の体系	(1) 最新の科学技術を活用して交通を発展させる (2) 新たな移動サービスを活用して交通を充実させる		(3) 広域的な交通ネットワークを充実させる			
□目標指標	指標名	基準数値 (a) (基準年)	数値 (b) (評価年)	目標数値 (c) (目標年)	進捗状況 (%) 基準年(a/c) ⇒ 評価年 (b/c)	進捗評価
	① 交流人口 (観光入込客数)	1,499万人 (H29年度)	894万人 (R3年度)	1,550万人 (R4年度)	96.7% ⇒ 57.7%	減少している (新型コロナウイルス感染症の影響により)